

編集後記

雑誌名	東日本歯学雑誌
巻	19
号	1
ページ	141
発行年	2000-06-30
URL	http://id.nii.ac.jp/1145/00008530/

会費納入のお願い

正会員，準会員，賛助会員で平成12年度会費の未納の方は，事務整理上至急ご納入下さるようお願いいたします。

払込みは北海道銀行当別支店（普通No 128259）宛，または同封郵便振替用紙をご利用下さい。（会計委員）

原稿募集について

次号（第19巻，第2号）の発行は平成12年12月31日です。
会員各位の投稿原稿募集の締切りは平成12年9月30日（土）必着と致します。
期日厳守の上，ご投稿をお願い上げます。本紙投稿規定ご参照の上“提出原稿の書き方”を編集委員会にご請求下さい。（編集委員会）

編集後記

「Evidence-based Dentistry」が提唱されている。なぜ今，Evidence-basedが強調されなければならないのか？“科学的根拠に基づいた”と説明されながら，臨床の場において，どうすればEvidence-basedなのかについての具体的提案が乏しいように思われる。確かに，同一の事象についての臨床研究でありながら，異なる結果について，互いの経験に基づく確信だけを述べ合って，議論がかみ合わない時がある。互いにEvidenceと科学的方法論を共有していないことが原因と思われる。

なぜ基礎研究が臨床における問題を科学的に説明するEvidenceとなり得ないのか？ある理想的な条件下（実験室内）で実施された基礎研究の結果を臨床の問題を説明できるEvidenceにまで高める努力に欠けているためであろう。研究のための研究であってはいけないと思う。「Evidence-based Dentistry」を実践するためには，思考方法を含めた科学的方法論を身につけなければいけない。本誌も「Evidence-based Dentistry」を実践し，鍛錬する場の一つである。（大野 記）